

平戸図書館開館十周年記念事業

直木賞作家

# 澤田瞳子氏講演会

—作家の視点から見た

長崎・平戸の歴史と文化—



撮影・富本真之

## 澤田瞳子(さわだ・とうこ)

1977年、京都府生まれ。同志社大学大学院博士前期課程修了。奈良仏教史を専門に研究したのち、2010年に長編小説『孤鷹の天』で小説家デビュー。同作で中山義秀文学賞を受賞。2013年『満つる月の如し 仏師・定朝』で新田次郎文学賞、2016年『若冲』で親鸞賞、2020年『駆け入りの寺』で舟橋聖一文学賞、2021年『星落ちて、なお』で直木賞をそれぞれ受賞している。他の著書に『火定』『名残の花』『のち更に咲く』『赫夜』『孤城 春たり』『しらゆきの果て』等多数。同志社大学客員教授。雑誌「中央公論」2025年6月号で最終回を迎えた『金波銀波』は、平安時代初期の平戸も舞台として描かれた。

8月2日(土)

午後2時～3時30分

平戸市未来創造館ホール

入場無料・事前申込不要

お問い合わせ：平戸図書館 TEL0950-22-4017

トーク&サイン会